

ワークショップの目的

大学や学生が街の人々と連携し、新しいまちづくりのビジョンやその実現のためのシナリオを探り出す可能性を考えるために実施する「シャレット・ワークショップ」は、専門家が具体的な対象地域に短期滞在し、地域の人々との合意を形成しながら、具体的なビジョンやプランを作成する一連の作業のことを言う。今回のワークショップでは、伝統的街並みが残

る大阪・平野地域に、全国公募による学生と教員が数日間滞在し、街の人々と協働しながら、街のコンテキストの解説、シナリオの検討、まちづくりデザインの提案までの一貫作業を行う。これからの街づくりをコーディネートし得る人材を学生や街の中から発掘し、育成することも、このワークショップの大きな目的である。

ワークショップの課題・テーマ

テーマ1 : 景観的資産の再発見と評価

更新されていくことも是認しながら、ゆるやかに平野らしい景観を守っていく。現状（あるいは過去から）の平野の景観資源を確認し、景観資源マップや模型づくりを通して将来につながる現状評価を行い、景観法に基づく何らかのアクションへと展開していく。

テーマ2 : 歴史資産の活用方法の提案

近年、平野のまちの中でも、周辺の文脈や歴史的な背景を無視したマンションが立地し始めている。平野の住まい方、すなわち長年培ってきたここならではの居住環境を、どう現代・未来に継承していくのかが問われている。平野のまちの住まい方を学び、対象敷地に対して新しい私たちの生活にも対応した居住環境、集合住宅モデルなどを提案する。

参加者

■学生

足立 隆介 工学院大学
 油井 伸悟 大阪市立大学
 辛島 一樹 有明工業高等専門学校
 寒野 誠規 神戸大学
 熊谷 都子 神戸大学
 笹尾 和宏 大阪大学
 佐竹 敬司 有明工業高等専門学校
 三箇 将容 明石工業高等専門学校
 三箇 祥哲 立命館大学
 白石 将生 大阪工業大学
 杉野 香織 神戸大学
 田坂 達生 山口大学

■教員

鷗 心治 山口大学
 岡 絵理子 大阪大学
 小浦 久子 大阪大学
 小林 正美 明治大学
 高橋 潤 明治大学

■サポーター

小林 剛士 山口大学

田中 翔太 福井大学
 田中 正幸 大阪大学
 田辺 光政 工学院大学
 徳江 明宏 日本大学
 登根 哲生 大阪市立大学
 中島 祐介 日本大学
 福士 美幸 弘前大学
 松尾 学 山口大学
 松本 邦彦 大阪大学
 三倉 葉子 京都工芸繊維大学
 村野 泰弘 福井大学
 山根 尚文 千葉大学

根上 彰生 日本大学
 野嶋 慎二 福井大学
 野澤 康 工学院大学
 真野 洋介 東京工業大学

古市 修 明治大学

スケジュール

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
ミーティング	開会式				閉会式
調査 ディスカッション			グループ毎の活動		
エスキス					
プレゼンテーション			まちなか講評会		最終講評会

ワークショップ風景



開会式



開会式



開会式



開会式



全員での町歩き



KJ法によるグループ分け



グループ内でのディスカッション



地元住民へのアンケート調査



町歩き調査結果報告



各グループの提案発表



全体エスキス



個別エスキス



空店舗を利用した
まちなか講評会 (中間発表)



空店舗を利用した
まちなか講評会 (中間発表)



地元住民への最終講評会



地元住民への最終講評会